

荒尾市地域公共交通利便増進実施計画における検討内容について

◆荒尾市地域公共交通計画の目指す目標

- 計画目標① 公共交通全体の利用者数の維持向上
- 計画目標② 「スマート」な移動環境構築
- 計画目標③ 公共交通間連携によるサービス改善
- 計画目標④ 自家用車に依存しない、楽しいお出かけの促進

◆策定方針：実証やシミュレーションを行いながら計画作成

効率化
おもやいタクシーと乗合タクシーの運行

- おもやいタクシーと乗合タクシーの合計の年間利用者数を、R4実績値17,801人からR9 目標値26,000人/年（約1.4倍）とすることを目標としている
- 利用者の利便性を一定程度維持しつつ、数値目標を達成するための運行体制について、**複数の将来イメージを基にシナリオを設定し、シミュレーションで検討**する

進
商業施設や健康づくり施策と連携した利用促進

- **商業や健康づくり施設と連携し、お出かけを促す情報とセットで公共交通に関する情報やお得なチケット等（運賃施策で検討）を配信**するなど（おでかけあらかずアプリ等の活用）、お出かけの目的地と移動手段の連携を検討する
- 特に、**行動変容（自家用車→公共交通）を促す、効果的な運賃施策や情報配信タイミング等を検証**し、結果を基に**恒常的に実施できる施策を検討**する（持続可能性と利用促進のバランスを考慮）



◆目標を実現するために実施する事業の実施計画＝利便増進実施計画

運行効率化	おもやいタクシーと乗合タクシーの運行効率化	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内を運行するおもやいタクシーの運行充実と乗合タクシーの効率化の両立に関する検討を行う
運賃施策の検討	運賃施策の検討1：通学定期券の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 荒尾玉名線の通学利用促進のため、交通事業者及び沿線自治体と連携して新たな定期券について企画し、導入に向け移動需要と収入額を考慮した最適な価格設定・サービス内容を検討する
	運賃施策の検討2：交通モード横断の運賃施策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物や健康づくりを目的とした移動に対し、モビリティマネジメント施策と相乗効果が期待できる施策を検討し、路線バスとおもやいタクシーなどを組み合わせた運賃施策の導入を合わせて検討する
	運賃施策の検討3：福祉特別乗車証のICカード化検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉特別乗車証について、ICカード化にあわせ、適切な受益者負担に係る試算を行う。現行の「100円/回均一」と考え得る割引案についていくつかのパターンで試算する
M M	モビリティマネジメントの実施施策検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業・健康等、移動目的を絞り、買い物客や高齢者の行動変容を促す利用促進策について、具体的な実施内容について検討する ● 特に、モニターを募り、テストマーケティングの実証を行い、実施の具現化を行う ● 免許返納を考えている高齢者や若年層に向けた公共交通利用促進策について、より具体的な実施内容を検討する

